

(財)海洋化学研究所 平成 17 年度事業報告書

I 法人の概況

1. 設立年月日

昭和 21 年 4 月 4 日

2. 寄附行為に定める目的

海洋化学に関する研究, 助成および奨励をなし, その発達を図る

3. 寄附行為に定める事業内容

- (1)海洋化学に関する研究ならびに調査
- (2)海洋化学に関する研究者の養成
- (3)海洋化学に関する知識の普及
- (4)海洋化学に関する研究者もしくは団体に対し研究資金の交付
- (5)その他目的を達するために必要な事項

4. 所管官庁に関する事項

文部科学省研究振興局学術機関課

5. 会員の状況

会員数 153 (平成 18 年 3 月 31 日現在)

6. 主たる事務所

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄官有地 京都大学化学研究所内
TEL: 0774-38-3100; FAX: 0774-38-3099

7. 役員等に関する事項

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理事長	木田 英	非常勤	
理事	藤永太郎	非常勤	
理事	桑本 融	非常勤	所長
理事	左右田健次	非常勤	
理事	堀 智孝	非常勤	副所長・京都大学大学院人間・環境学研究科教授
理事	松村 竹子	非常勤	(有)ミネルバライトラボ取締役
理事	宗林 由樹	非常勤	副所長・京都大学化学研究所教授
理事	中西 正己	非常勤	
理事	木場 靖夫	非常勤	(株)ハーモニック・ドライブ・システムズ常勤監査役
監事	乾 隆	非常勤	
監事	紀本 岳志	非常勤	(株)紀本電子工業代表取締役社長
主事	則末 和宏	非常勤	京都大学化学研究所教務職員

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

(ア) 講演会等

海洋化学に関する研究者の養成，海洋化学に関する知識の普及を目的として，以下の会を開催した。

● 京都化学者クラブ例会

毎月第1土曜日午前11～午後1時，京大会館にて開催。各回の演題，講演者，出席者数は以下の通りである。

回数	年	月日	題目	講演者	所属	出席者数
175	2005	1月8日	新春賀詞交歓会			20
176	2005	2月5日	近未来の気候変動にそなえたエネルギー対策	松井 正和	京都大学名誉教授	17
177	2005	3月5日	西部北太平洋での鉄散布実験(SEEDS, SEEDSII)における微量金属元素の動態	中塚 清次	京都大学大学院理学研究科M2	21
178	2005	4月2日	古陸水的手法を用いた琵琶湖の過去100年にわたる動植物プランクトンの動態	加 玲美	京大学生態学センターPD	18
179	2005	5月7日	マグネシウムあれこれ	松本 学	(株)松本製作所代表取締役	18
180	2005	6月4日	信濃川水系における"シリカ欠損説"の検証と生物態シリカの分析	樋上照男	信州大学理学部化学科教授	23
181	2005	7月2日	海水と堆積物中の微量元素のスペシエーション	中口 謙	近畿大学理工学部理学科助教授	18
182	2005	8月6日	原始地球の化学進化に学ぶ	中原 勝	京都大学化学研究所教授	21
183	2005	9月3日	生物試料の安定同位体分析、その人類学への応用	南川 雅男	北海道大学大学院地球環境科学研究科教授	22
184	2005	10月1日	必須微量元素セレンをはかる:セレンールの可視化計測	前田 初男	大阪大学大学院薬学研究科助教授	19
185	2005	11月5日	ストリッピングボルタメトリーによる微量金属のスペシエーション	横井 邦彦	大阪教育大学自然研究講座教授	24
186	2005	12月3日	金属ナノ粒子の化学調整と応用	小山 宗孝	京都大学国際融合創造センター助教授	18
187	2006	1月7日	新春賀詞交歓会			15
188	2006	2月4日	X線を用いる分析化学	河合 潤	京都大学大学院工学研究科教授	23
189	2006	3月4日	ハーモニック減速機の原理と応用	笹原 政勝	(株)ハーモニック・ドライブ・システムズ取締役	21

● 第25回石橋雅義先生記念講演会

平成17年4月28日(木)午後1時30分～午後5時，京都大学百周年時計台記念館にて開催。演題，講演者は以下の通り。

1. 「海洋における鉄の分析化学的研究」東京大学海洋研究所 小畑 元 氏
2. 第20回海洋化学学術賞受賞記念講演「瀬戸内海の環境保全に関わる物質循環機構」独立行政法人産業技術総合研究所地質情報研究部門沿岸海洋研究グループ長 星加 章 氏

出席者48名。講演会後，懇親会を開催(出席者37名)。

● 59周年秋季講演会

平成17年11月5日(土)午後1時30分～午後4時30分，京大会館にて開催。演題，講演者は以下の通り。

1. 「バイカル湖堆積物の元素組成特性とその鉛直変動から見た古環境」国立環境研究所 高松武次郎 氏
2. 「日本海とスルー海:対照的な二つの縁海循環系の地球化学」東京大学海洋研究所 蒲生俊敬 氏

出席者41名。講演会後，懇親会を開催(出席者37名)。

(イ) 第20回海洋化学学術賞

海洋の化学的研究において功績顕著な科学者を顕彰し，海洋化学研究の発展を図るため，平成17年4月28日(木)京都大学百周年時計台記念館にて，独立行政法人産業技術総合研究所地質情報研究部門沿岸海洋研究グループ長 星加 章 氏に授与。

(ウ) 出版・広報

海洋化学に関する研究者の養成、海洋化学に関する知識の普及を目的として、以下の事業を実施した。

- 研究所報「海洋化学研究」第 18 巻 1 号, 2 号を刊行
- 財団のホームページを作成, 公開 <http://www.oceanchemistry.org/>

(エ) 研究・調査

海洋化学に関する研究ならびに調査を目的として、以下の事業を実施した。

- 太平洋, 南極海における微量元素の断面観測
 - 京都大学化学研究所宗林研究室へ研究委託
 - 報告は, 「海洋化学研究」第 19 巻 1 号に公表予定

3. 役員会等に関する事項

● 第 1 回理事会

日時 平成 17 年 4 月 28 日 11 時 30 分～12 時 45 分

場所 京都大学百周年時計台記念館(京都市左京区)

出席者 理事 8 名 木田理事長, 藤永, 桑本, 左右田, 堀(委任状), 松村, 宗林, 中西

監事 1 名 乾

主事 1 名 則末

欠席者 監事 1 名 紀本

第 1 号議案 理事人事の件. 議長は, 木場靖夫氏を理事に加えることについて諮ったところ, 満場一致をもって可決した。

第 2 号議案 第 20 回海洋化学学術賞の件. 第 20 回海洋化学学術賞は, 平成 17 年 3 月 5 日開催の選考委員会(平木敬三委員長)から推薦のあった独立法人産業技術総合研究所地質情報研究部門沿岸海洋研究グループ長星加 章 氏に授与することを, 満場一致で承認した。

第 3 号議案 平成 16 年度事業報告の件. 宗林理事から案について説明があり, 審議の結果, 一部修正の上, 満場一致で承認した。

第 4 号議案 平成 16 年度収支計算の件. 宗林理事から案について説明があり, 審議の結果, 一部修正の上, 満場一致で承認した。

第 5 号議案 平成 17 年度事業計画の件. 宗林理事から案について説明があり, 審議の結果, 満場一致で可決した。

第 6 号議案 平成 17 年度収支予算の件. 宗林理事から案について説明があり, 審議の結果, 満場一致で可決した。

第 7 号議案 平成 16 年度文部科学省実地検査への対応の件. 宗林理事から平成 17 年 3 月 22 日の文部科学省実地検査における指摘事項, ならびにこれに対応するための平成 17 年度運営改善案について説明があり, 審議の結果, 満場一致で可決した。

その他 同名財団問題について, 宗林理事が最近の情報を説明した. 経過を慎重に観察することで合意した。

● 第 2 回理事会

- 日時 平成 17 年 11 月 5 日 12 時 30 分～13 時 15 分
- 場所 京大会館(京都市左京区)
- 出席者 理事 9 名 木田理事長, 藤永, 左右田(委任状), 桑本, 堀(委任状), 松村, 宗林, 中西, 木場
監事 1 名 乾
主事 1 名 則末
- 欠席者 監事 1 名 紀本
- 第 1 号議案 海洋化学学術賞規則の件. 宗林理事から案について説明があり, 審議の結果, 満場一致で承認した.
- 第 2 号議案 第 21 回海洋化学学術賞募集開始と選考委員の件. 宗林理事から案について説明があり, 審議の結果, 基本方針を満場一致で承認した. 詳細については, 運営協議会で審議することに決定した.
- 第 3 号議案 平成 18 年度第 26 回石橋雅義先生記念講演会の件. 宗林理事から案について説明があり, 審議の結果, 基本方針を満場一致で承認した. 詳細については, 運営協議会で審議することに決定した.
- 第 4 号議案 平成 18 年度 60 周年秋季講演会の件. 宗林理事から案について説明があり, 審議の結果, 基本方針を満場一致で承認した. 詳細については, 運営協議会で審議することに決定した.
- 第 5 号議案 「海洋化学研究」投稿案内の件. 宗林理事から案について説明があり, 審議の結果, 満場一致で承認した.
- 第 6 号議案 「海洋化学研究」第 19 巻第 1 号の件. 宗林理事から案について説明があり, 審議の結果, 満場一致で承認した.
- 第 7 号議案 平成 17 年度第 3 回理事会予定の件. 宗林理事から案について説明があり, 審議の結果, 満場一致で承認した.
- その他 宗林理事より, 会員異動, 会計中間状況, ホームページ, 平成 17 年度公益法人概況調査について報告があった.
財団の諸問題について, フリーディスカッションを行った.

4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の推移の状況

(単位:円)

事業年度	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期
前期繰越収支差額	449,876	834,434	626,010	55,721
当期収入合計	3,691,362	2,113,054	2,878,400	3,361,359
当期支出合計	3,306,804	2,321,478	3,448,689	3,150,965
当期収支差額	384,558	-208,424	-570,289	210,394
次期繰越収支差額	834,434	626,010	55,721	266,115
資産合計	24,334,434	22,626,010	19,786,383	17,886,115
負債合計	0	0	0	0
正味財産	24,334,434	22,626,010	19,786,383	17,886,115